

## 矯正治療十人十色



ヒロデンタル  
クリニック  
粕谷 寛 理事長

矯正歯科治療とは、歯並びと咬み合わせの改善を目的とした治療です。

大きく分けると、永久歯列期に行く「成人矯正」と、主には乳歯・永久歯が混在した混合歯列期に行く「小児矯正」があります。前者は、歯をきれいに並べ、最終的な咬みあわせを作ることを目的としています。後者は、永久歯の生えるスペースを確保し、上顎と下顎の

ズレを補正することを目的としています。

小児矯正において、近年子どものむし歯が減少する一方で、先天性欠歯(生まれながらに本数が足りない歯)を主訴として来院される方は増加しているという報告もあります。また萌出方向の異常、乳歯の早期脱落を放置したことによる永久歯の萌出スペース不足、または晩期残存(乳歯が脱落せずに残って

いる)、指しゃぶりなどの口腔習癖(くわくしゅうへき)などもこの混合歯列期によく目にします。初診時に「友達を取り外し装置を使っているからそれで治したい」と言われる方がいますが、特に小児矯正では、成長期であるため原因が骨の問題(上顎と下顎のズレ)であるのか? 歯の問題(ガタガタ、本数・位置異常など)であるのか? 急いで治療に取りかかるべきなのか? 経過をみてもよいものだろうか? という検査・診断がとても重要になってきます。

治療内容や治療開始時期も十人十色なので、相談して納得して、有効な治療を選択しましょう。